

平成 30 年度兵庫県中学校高等学校青少年赤十字協議会例会（第 2 学期）報告書

- 1 日 時 平成 30 年 11 月 11 日（日） 10:30～15:00
- 2 場 所 日本赤十字社兵庫県支部
- 3 担 当 兵庫県立柏原高等学校
- 4 参加者 加盟校メンバー・指導者、
兵庫県青少年赤十字協議会、支部職員【計 40 名】
〈メンバー参加校〉



兵庫県立尼崎北高等学校、兵庫県立柏原高等学校、兵庫県立加古川東高等学校、
神戸第一高等学校、滝川第二中学校・高等学校、兵庫県立上郡高等学校、
兵庫県立国際高等学校

5 内 容

今学期の例会では、第 1 学期例会でのワークショップで発表された「今後私たちにできること、これから行いたい活動」をもとに、実際の取組み報告や、今年度のテーマである「奉仕」に関わる活動を各学校から報告していただきました。

午後からは、下肢や視覚、聴覚に障がいのある方を講師としてお招きし、「相手の身になる真の支援・奉仕を考える」という内容でグループワークを行いました。まずは、アイスブレイクを兼ね、バースデーチェーンという方法でグループ分けをし、3名の講師から「実際にしてもらって嬉しかった手助け」や「普段の生活で困っていること、不便なこと」等のお話を伺いました。次にグループ内で情報を共有し、相手の心に届き、本当に喜ばれる手助けのあり方や行動の取り方を考え、発表を行いました。メンバーからは、「まずは声を掛けて、相手が求めていることを理解しようとする努力が必要である。」「周りをよく見て、声を掛ける勇気を持てるようになりたい。」といった感想が聞かれました。

引き続き、第 4 ブロック青少年赤十字国際交流としてマレーシアに派遣されたメンバーから報告をいただき、閉会となりました。



活動報告・経過報告



国際交流事業報告



グループワーク

